

大熊町を
端から端まで
知りつくそう！

●第4回 大川原地区

1区長 宗像 宗之
2区長 横川 公治

大熊町地図



登山者に振る舞われるトン
汁の準備は二十六日頃から鍋
の用意や野菜の手配をし、前



ふるさと 再発見

地区集会所を訪ねて



1区集会所



2区集会所

大川原一区の横川区長
さんをお訪ねしてお話を伺いました。

日隱山の山開きは毎年五月二十九日に行われる地区の一番大きな活動です。四月に入つてからすぐ日に「日隱山・山開き実行委員会」を結成し準備

ブ、婦人消防隊、PTAで組織され、それぞれに役割分担をしています。一週間前に登山道の整備をします。地区的役員、班長約二〇人ほどで登山道の周辺を草刈り機で草を刈ったり、登りにくい場所を整備したりなかなか大変です。又、整備の前にも何度も登って、危険個所の確認や眺望の善し悪しなど細かくチェックしています。前日はテント張りをして当日に備えます。

大川原地区は手の倉地区・西平地区・南平地区からなり、富岡町に隣接し、坂下ダム、日隱山など町の観光スポットがあります。地区には歴史的な史跡・遺跡・伝承などが多く残っており、古の良さを継承しつつ各種団体が活動しています。

日に刻みますが、大鍋二つ、七〇〇人分ですから、時間がかかります。これは地区の女性団体が受け持っております。



登山記念に配られるマスコットは婦人学級生の手作りです。約一〇年位になりますか？可愛いので好評です。きちんと安全祈願をしてから配布していますので御利益がありますよ。学級生が集まって一緒につくったり、各自夜自宅でつくったり：七〇〇個作るのに根気のいる作業ですが、登山者に喜んでもらえるので頑張っています。又、当日は餅や野菜、山菜の販売もするので、お願ひして安全祈願のお供え餅を作つて貰っています。

講師に招いて第一集会所で作ります。参加者は十五～三十人です。大注連縄は四つ作り、大山祇神社、八幡様、一区二区の集会所に飾ります。

「注連縄作り」



一月半ば、どんと祭の前日には婦人学級を中心として老人クラブの人達や子どもたちと一緒に行います。お餅をついて「稻穂つけ」をします。



「三世代交流事業」



老人クラブで地区集会所や公園の清掃を定期的にします。又、婦人会の協力を得て、集会所周辺には花を植えて集う人達の目を楽しませています。

「美化作業」



ライスセンターの前の田んぼで、早朝六時から行います。前日に三世代交流事業でいた餅を焼いて食べ、豊年と無病息災を祈願致します。

「鳥小屋」は一週間前に班長さんの協力を得て作つておきます。

藁は叩いて少し柔らかくしてから使用しますが、その加減が難しいです。



ミズノキの枝に赤、白、ピンク、薄緑、黄色のカラフルなお餅をつけるとともにきれいです。毎年、大きな枝の「稻穂つけ」の飾りは大野幼稚園、保育所、社協で飾っています。

「地区運動会」

十二月に入つてから、高田公園でグランドゴルフをします。参加者は五十人ほどで楽しく汗を流した後は公園下の集会所で焼き肉パーティーをして盛り上がります。

「どんと祭」

日に刻みますが、大鍋二つ、七〇〇人分ですから、時間がかかります。これは地区の女性団体が受け持っております。